

アートコーポレーション株式会社(9030・東証1部)連結

2009/8/4

総合判断

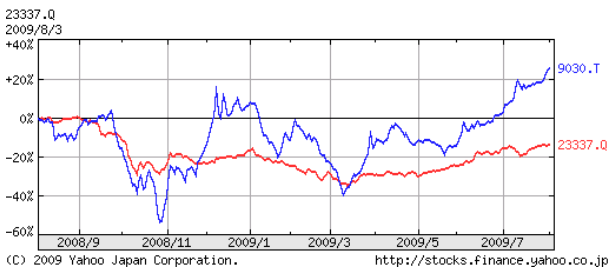
【コード】【業種】【市場】【決算】【主幹事】【現在株価】 1,585 円 【現在時価総額】 17,262 百万円
 9030 陸運業 東証1部 9月 野村
 【事業内容】 引越し事業を中核に「暮らし」関連のビジネスを展開、国内物流に注力するとともに保育事業も手掛ける。総合生活サービス産業を目指す。

+3

前回レーティング	-
目標株価	2,140 円



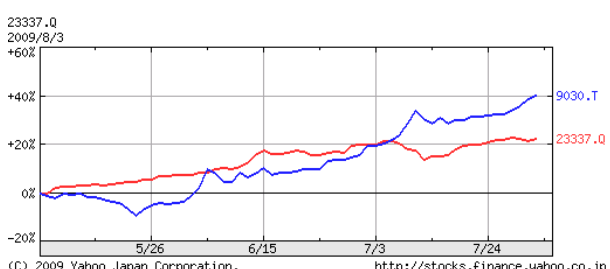
5年指数比較(JQ)



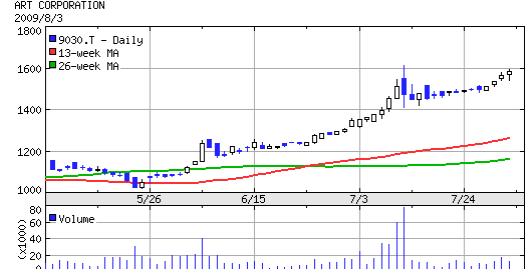
5年チャート



1年指数比較(JQ)



1年チャート



3ヶ月指数比較(JQ)

定量分析判断	
収益性	★★★
効率性	★★★
安全性	★★★
成長性	★★★
生産性	★★★
総合評価	★★★
評価指数	60.0%
3.0	3.0
2.7	3.0
3.0	3.3
3.0	3.0
定性分析判断	
総合判断	68.6% ★★★★★
戦略判断	65.7% ★★★★★
新規参入業者	61.3% ★★★★★
業界内構造	26.7% ★★
代替品	50.0% ★★★
顧客交渉力	66.7% ★★★★★
業者交渉力	71.4% ★★★★★

3ヶ月チャート

4指標総合判断		総合評価指数
★★★		54.4%

株価分析判断

理論株価基準	業界株価売上高基準	業界PER&PBR基準	市場PER&PBR基準	総合判断
★★★★★	★★★★★	★★★★★	★★★★★	★★★★★
-4.5%	-41.1%	-5.6%	-40.3%	-27.0%

IR戦略分析	
★★★	★★★
186	62.0%

目標参考理論株価 (単位:円)	35%ゾーン	50%ゾーン	100%ゾーン	150%ゾーン	200%ゾーン
2,140	2,378	3,170	3,963	4,755	
目標時価総額 (単位:百万円)	20,714.7	25,893.4	34,524.5	51,788.7	-

Comments
 引越し事業を中核に「暮らし」関連のビジネスを展開、国内物流に注力するとともに保育事業も手掛ける。定量分析においては60.0%と平均的水準。定性戦略分析は、68.6%と平均よりやや高い水準。株価分析は-27.0%とマイナスかい離しており割安な水準といえる。IR戦略分析62.0%と平均的水準であり、安値騰落率188.2%を考慮し総合評価指数54.4%と判断され総合レーティング+3とする。

※レーティングの見方 ※レーティング有効期間:6ヶ月

レーティング	総合評価指数	総合格付判断	格付
+1	81%~100%~	1年以内に+20%以上のアウトパフォーマンスが予想される銘柄	★★★★★
+2	61%~80%	1年以内に+10%~のアウトパフォーマンスが予想される銘柄	★★★★
+3	41%~60%	1年以内に+10%~-10%の相対パフォーマンスが予想される銘柄	★★★
+4	21%~40%	1年以内に-10%~のアンダーパフォーマンスが予想される銘柄	★★
+5	~0%~20%	1年以内に-20%以上のアンダーパフォーマンスが予想される銘柄	★

このレポートは、投資の参考となる情報提供を目的としたもので、投資勧誘を意図するものではありません。このレポートに用いられた数値及び意見等は、信頼に足ると考える情報源から得たデータ等に基づいており、KCR総研がその正確性を保証するものではありません。使用するデータ・表現等の欠落・誤謬等については責任をおいかねますのでご了承下さい。当社は、当資料の一部または全部を利用することにより生じたいかなる損失・損害についても責任を負いません。投資の決定はご自身の判断と責任でなされますようお願いいたします。記載された意見や予測等は作成時点のものであり、正確性、完全性を保証するものではなく、今後予告なく変更されることがあります。本資料の金融商品について当社や関連会社、及びその役員が自己売買または委託売買取引等を行う場合があります。内容に関する一切の権利はKCR総研にあります。事前の了承なく複製または転送等を行わないようお願いします。

理論株価基準	業界株価売上高基準	業界PER&PBR基準	市場PER&PBR基準	★★★★★
★★★★★	★★★★★	★★★★★	★★★★★	★★★★★

算定結果					
類似会社比準方式	1,666 円	-4.9%		09/08/04	1,585 円
簿価純資産価額方式	1,575 円	0.6%	株価収益率		10.84 倍
収益還元方式	2,372 円	-33.2%	株価純資産倍率		1.01 倍
売上高倍率方式	2,689 円	-41.1%	予想株価収益率(JQ)		23.80 倍
DCF方式	- 円	-	類似企業平均株価収益率		11.83 倍
全理論株価平均	1,660 円	-4.5%	株価純資産倍率(JQ)		1.16 倍
前提条件			類似企業平均株価純資産倍率		1.03 倍
			予想株式益利回り		2.68 %
			予想平均配当利回り(JQ)		2.25 %

	前々々期	前々期	前期	今期KCR	来期KCR	来々々期KCR
	実績	実績	実績	予想	予想	予想
売上高	59,204	63,596	70,253	74,187	77,897	85,686
経常利益	3,852	4,747	2,646	3,413	3,583	4,113
当期純利益	2,063	2,608	689	1,558	2,150	2,468
営業活動によるCF	328	-2,322	2,106	1,500	2,000	2,500
投資活動によるCF	383	-2,093	-359	-1,000	-1,500	-1,500

アートコーポレーション株式会社(9030・東証1部)連結

売上高	74,192 百万円	今期会社予想	
経常利益	3,406 百万円	今期会社予想	
当期純利益	1,593 百万円	今期会社予想	
株主持分	17,153 百万円	直近値	
発行済株式数	10,891,000 株	直近値	
株価	1,585 円	直近終値	
時価総額	17,262 百万円		
1株当売上高	6,812 円	類似企業平均時価総額	358,756 百万円
1株当当期純利益	146 円	類似企業株価売上高倍率	0.39 倍
1株当純資産	1,575 円	算定値	2,689 円
株価売上高倍率	0.23 倍	EPS × 類似企業平均	1,730 円
株価収益率	10.84 倍	PBR × 類似企業平均	1,627 円
株価純資産倍率	1.01 倍	類似企業全平均	1,679 円
株価益利回り	9.23%	EPS × 市場平均	3,481 円
		PBR × 市場平均	1,827 円
		市場全平均	2,654 円
		4平均	2,171 円
類似企業			-27.0%

株式会社サイイ引越センター(9039・東証1部)単独

	A	ヤマトホールディングス株式会社(9064・東証1部)連結	B
売上高	52,514 百万円	今期会社予想	1,227,000 百万円
経常利益	5,561 百万円	今期会社予想	61,000 百万円
当期純利益	2,958 百万円	今期会社予想	31,500 百万円
株主持分	24,225 百万円	今期会社予想	475,140 百万円
発行済株式数	9,781,600 株	直近値	457,315,176 株
株価	2,170 円	直近終値	1,350 円
時価総額	21,226 百万円	直近値	617,375 百万円
1株当売上高	5,369 円		2,683 円
1株当当期純利益	302 円		69 円
1株当純資産	2,477 円		1,039 円
株価売上高倍率	0.40 倍		0.50 倍
株価収益率	7.18 倍		19.60 倍
株価純資産倍率	0.88 倍		1.30 倍
株価益利回り	13.94%		5.10%

日本通運株式会社(9062・東証1部)連結

	C	株価コメント
売上高	1,580,000 百万円	今期会社予想
経常利益	36,600 百万円	今期会社予想
当期純利益	21,300 百万円	今期会社予想
株主持分	473,491 百万円	今期会社予想
発行済株式数	1,062,299,281 株	直近値
株価	412 円	直近終値
時価総額	437,667 百万円	
1株当売上高	1,487 円	
1株当当期純利益	20 円	
1株当純資産	446 円	
株価売上高倍率	0.28 倍	
株価収益率	20.55 倍	
株価純資産倍率	0.92 倍	
株価益利回り	4.87%	

理論株価算定においては、類似会社平均値で1665円と理論値をやや下回っている水準、総合平均では1660円と同様の状況にある。類似企業の売上高倍率平均比較では-41.1%と割安、EPS・PBR平均比較では-5.6%と割安、市場とのEPS・PBR平均比較では、-40.3%と割安の水準にあり、4平均総合評価は-27.0%割安な水準と分析される。DCF法ではマイナスの評価となる。

類似会社比準方式	
平均	1,665.82
最大	2,383.57
最小	1,281.39

	平均株価	平均EPS	平均BPS	算定価格
A	1,311	130.4	1,320	1,516
A	1,760	185.6	1,758	1,482
A	1,291	161.2	1,461	1,281
B	881	44	742	2,384

このレポートは、投資の参考となる情報提供を目的としたもので、投資勧誘を意図するものではありません。このレポートに用いられた数値及び意見等は、信頼に足ると考える情報源から得たデータ等に基づいておりましたが、KCR総研がその正確性を保証するものではありません。当社は、当資料の一部または全部を利用することにより生じたいかなる損失・損害についても責任を負いません。投資の決定はご自身の判断と責任でなされますようお願いいたします。記載された意見や予測等は作成時点のものであり、正確性、完全性を保証するものではなく、今後予告なく変更されることがあります。内容に関する一切の権利はKCR総研にあります。事前の了承なく複製または転送等を行わないようお願いいたします。

★の見方	★★★★★	かなり割安
	★★★★	割安
	★★★	標準
	★★	割高
	★	かなり割高

アートコーポレーション株式会社(9030・東証1部)連結

総合判断

【コード】 【業種】 【市場】 【決算】 【代表者】 【代表者生年月日】 【年齢】
9030 陸運業 東証1部 9月 寺田千代乃 1947年1月8日 62歳

★★★★★

【事業内容】 引越し事業を中核に「暮らし」関連のビジネスを展開、国内物流に注力するとともに保育事業も手掛ける。総合生活サービス産業を目指す。

Table with 4 columns: Category, Value, Rating, and Description. Includes items like 総合判断 (68.6%), 戦略判断 (65.7%), 新規参入業者 (61.3%), etc.

Table with 3 columns: Category, Value, and Rating. Includes 新規参入業者 (80), 業界内構造 (90), 顧客交渉力 (90), 業者交渉力 (70), and 合計 (350).

Table with 3 columns: Category, Value, and Rating. Includes 業界最安値価格 (5), 低コスト体質 (0), 粗利率 (0), etc.

Table with 3 columns: Category, Value, and Rating. Includes 製品設計 (10), ブランドイメージ (10), テクノロジー (5), etc.

Table with 3 columns: Category, Value, and Rating. Includes 特定ターゲットへの投資 (5), 特定製品への投資 (5), etc.

■将来の検証&リスク分析 将来の脅威に対するリスクを見極める
リスク分析 48.9%

Table with 3 columns: Category, Value, and Rating. Includes 他社による技術革新可能性 (10), ライバル企業の低コスト化 (10), etc.

■戦略性チェック分析 整合度、重点度、計画性、目的度の4視点から見極める
経営バランス分析 90.0%

Table with 3 columns: Category, Value, and Rating. Includes 外部環境と経営環境 (10), 全社戦略と事業戦略 (10), etc.

Table with 3 columns: Category, Value, and Rating. Includes 他社へのブランド指名買い (0), 顧客ニーズの変化 (5), etc.

Table with 3 columns: Category, Value, and Rating. Includes 事業領域、市場、製品 (5), 静態的経営資源の投入 (5), etc.

Table with 3 columns: Category, Value, and Rating. Includes コスト優位性の崩壊 (5), 特異ニーズの崩壊 (5), etc.

Table with 3 columns: Category, Value, and Rating. Includes 目標への到達 (10), 長期視点での計画 (10), etc.

■その他の定性要因 戦略とは別の要因をチェック
90.8%

Table with 3 columns: Category, Value, and Rating. Includes 経営トップ 経営スタンス (160), 合計 (170).

Table with 3 columns: Category, Value, and Rating. Includes 戦略ドメイン (10), 社是・経営理念、CSR (10), etc.

Table with 3 columns: Category, Value, and Rating. Includes 会社分析 本社・環境・社風 (105), 合計 (120).

Table with 3 columns: Category, Value, and Rating. Includes 戦略レベル 極めて戦略的 (80~100%), かなり戦略的 (60~80%), etc.

Comments
対象業界である陸運業界は、低成長分野であるが、サービスと融合することで付加価値アップは可能な業界である。政治的プラス要素はあるが物流自体は競争が激しく業界環境分析は55.2%と平均よりやや下の水準。同社は生活関連の多角化を目指しており戦略性は、差別化が高く評価でき67.6%。将来リスクは、差別化のリスク潜在し、48.9%とややリスク有り。経営バランス分析90.0%、その他要因分析90.8%と分析され、戦略判断65.7%、総合判断68.6%とする。

このレポートは、投資の参考となる情報提供を目的としたもので、投資勧誘を意図するものではありません。このレポートに用いられた数値及び意見等は、信頼に足ると考える情報源から得たデータ等に基づいており、KCR総研がその正確性を保証するものではありません。使用するデータ・表現等の欠落・誤謬等については責任をおいかねますのでご了承下さい。当社は、当資料の一部または全部を利用することにより生じたいかなる損失・損害についても責任を負いません。投資の決定はご自身の判断と責任でなされますようお願いいたします。記載された意見や予測等は作成時点のものであり、正確性、完全性を保証するものではなく、今後予告なく変更されることがあります。本資料の金融商品について当社や関連会社、及びその役員が自己売買または委託売買取引等を行う場合があります。内容に関する一切の権利はKCR総研にあります。事前の了承なく複製または転送等を行わないようお願いいたします。

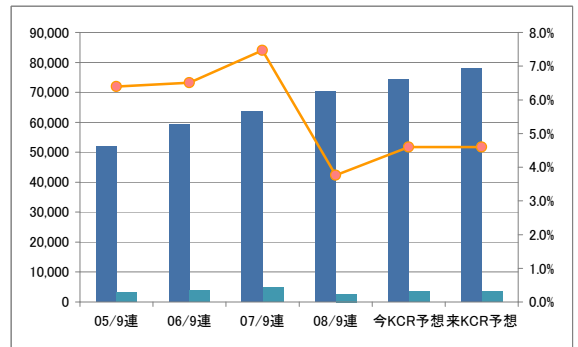
アートコーポレーション株式会社(9030・東証1部)連結

Company profile table including [住所・TEL], [コード], [業種], [市場], [決算], [上場年月], [BPS(円)], [PER(倍)], [PBR(倍)], [取引単位(株)], [配当利回り], [直近株価], [優待利回り], [実質利回り], [資本金], [利益剰余金], [資本金], [自己株数], [比率], [直近EPS], [調整EPS], [直近PBR].

総合判断 ★★★

Main financial performance table with columns for (百万円) 売上高, 増収率, 営業利益, 利益率, 経常利益, 利益率, 利益, 利益率, (円) EPS, (円) 1株配当, (千株) 発行済株数, (百万円) 営業CF, (百万円) 投資CF, (百万円) FCF, (百万円) 財務CF, (百万円) 現金等.

※左:売上高推移(百万円)、右:経常利益推移(百万円) ※線グラフ:売上高経常利益率



Quarterly analysis table (四半期分析) with columns for (百万円) 売上高, (百万円) 増収率, (百万円) 営業利益, (百万円) 利益率, (百万円) 経常利益, (百万円) 利益, (百万円) 利益率, (円) EPS, (円) 1株配当, (人) 従業員数.

Segment information table (セグメント情報) with columns for 引越, 輸入車販売, 国内物流, 住宅関連等, 合計, and various metrics like 増減, 外国人, 投信, 浮動株, 特定株, 株主数, 設備投資, 減価償却, 研究開発.

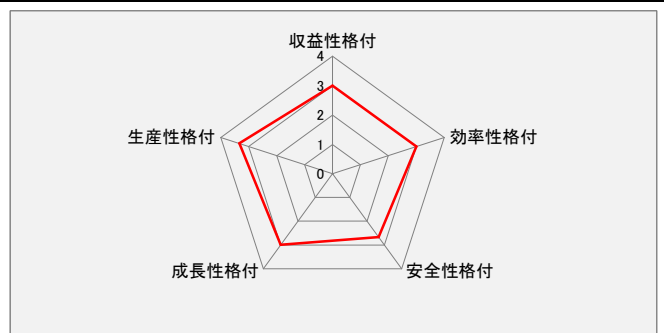
Similarity comparison table (類似・競合平均値) comparing Art Corporation with competitors like 株式会社 サカイ, ヤマトホールディングス, 日本通運, and 自動車運送連連(5市場). Metrics include 収益性, 効率性, 安全性, 成長性, 生産性, and 総合評価.

※Aセットを伴う計算においては直近実績値を用いて算出している。

Summary table for 収益性, 効率性, 安全性, 成長性, 生産性, 総合評価 with star ratings (★★★).

財務Comments

引越し事業を中核に「暮らし」関連のビジネスを展開、国内物流に注力するとともに保育事業も手掛ける。前期は増収大幅減益で着地。今期会社予想は、小幅増収も利益回復予想。今期第3Qにおいて売上失速感なく利益達成水準。今期上方修正の余地あり。類似競合比較では、全ての指標で平均的な水準で財務バランスがとれた企業といえる。市場平均との比較においてもほぼ同様の水準であり、総合評価指数を0.1ポイント押し上げる結果となっている。外国人比率微増傾向。



このレポートは、投資の参考となる情報提供を目的としたもので、投資勧誘を意図するものではありません。このレポートに用いられた数値及び意見等は、信頼に足ると考える情報源から得たデータ等に基づいており、KCR総研がその正確性を保証するものではありません。使用されるデータ・表現等の欠落・誤謬等については責任をおいかねますのでご了承下さい。当社は、当資料の一部または全部を利用することにより生じたいかなる損失・損害についても責任を負いません。投資の決定はご自身の判断と責任でなされますようお願いいたします。記載された意見や予測等は作成時点のものであり、正確性、完全性を保証するものではなく、今後予告なく変更されることがあります。本試料の金融商品について当社や関連会社、及びその役員が自己売買または委託売買取引等を行う場合があります。内容に関する一切の権利はKCR総研にあります。事前の了承なく複製または転送等を行わないようお願いいたします。

アートコーポレーション株式会社(9030・東証1部)連結

総合判断

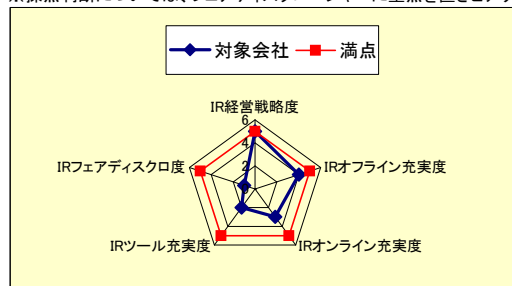
【コード】	9030	【業種】	陸運業	【市場】	東証1部	【決算】	9月	【〒】	574-0024	【電話】	072-870-0123	★★★
【住所】	大阪府大東市泉町2-14-11				【設立年月】	1977/06		【連結子会社】		8		
【代表者】	寺田千代乃		【代表生年月日】	1947年1月8日		【年齢】	62歳		【当社取材】		2回	
【事業内容・特徴】 引越し事業を中核に「暮らし」関連のビジネスを展開、国内物流に注力するとともに保育事業も手掛ける。総合生活サービス産業を目指す。												

IR活動評価 参考データ 点数 類似・競合平均 アートコーポレーション株式会社(9030・東証1部)連結

1、IR活動実施状況(10点)				
実施している	89.3%	10	10.0	10
2、IRの組織(10点)				
専任部署		10	6.5	8
総務部	24.0%	4		
企画部	23.0%	8		
広報部	17.0%	3		
財務部		5		
経理部		3		
社長室		6		
その他		2		
3、経営トップの姿勢(50点)				
経営トップによるIR活動をしているか	83.6%	50	36.3	50
実施している		10	10.0	10
その形態は				
トップが投資家向け説明会に参加	81.8%	10	10.0	10
トップがアナリストの個別取材を受ける	67.6%	30	16.3	30
4、IRコミュニケーション(80点)		80	52.5	45
決算説明会	77.7%	10	10.0	10
個別面談	32.6%	10	8.8	10
海外説明会	15.9%	10	2.5	0
誰に対して実施するのか				
アナリスト・機関投資家	37.7%	10	10.0	10
個人投資家	13.4%	10	3.8	0
開示姿勢はフェアに行われているか	重点項目	20	10.0	10
取材を受けるだけでなく投資家を訪問	50.0%	10	7.5	5
5、IRツール(20点)		30	18.8	15
株主通信	89.6%	10	7.5	10
英文資料(アニュアルレポート等)	42.8%	20	11.3	5
6、IRサイト(100点)	97.5%	100	65.8	48
IRと明示されたサイトをもっているか	79.4%	10	7.5	0
トップメッセージ	45.9%	10	10.0	10
有価証券報告書	42.0%	10	7.5	10
決算短信	41.5%	10	10.0	10
月次報告・株主通信	36.2%	10	5.0	5
説明会情報	28.5%	10	10.0	10
動画	23.8%	10	0.0	0
メールマガジン	19.5%	10	2.5	0
FAQ(よくある質問への回答)	14.6%	10	7.5	0
英文版IRサイト	19.4%	10	5.8	3
7、IR効果測定(10点)				
している	84.3%	10	2.5	5
8、IR年間費用(10点)				
500万円以上～	24.0%	10	6.3	5

合計 300 198.5 186

※採点判断については、フェアディスクロージャーに重点を置きヒアリング及び客観的評価によってKCR総研独自の判断基準を用いています。★の見方



総合評点	62.0%	非常に良い270～	★★★★★
IR経営戦略度	86.0%	良い230～	★★★★
IRオフライン充実度	66.7%	普通180～	★★★
IRオンライン充実度	48.0%	やや劣る130～	★★
IRツール充実度	50.0%	非常に劣る80～	★
IRフェアディスクロ度	33.3%	問題あり0～	—

引越し事業を中核に「暮らし」関連のビジネスを展開。IR活動は、5段階評価でIRオフライン充実度4、IRオンライン充実度3、IRツール充実度2、IRフェアディスクロ度1、IR経営戦略度5。総合評点62.0%、総合判断186ポイント★★★とのIR戦略と分析された。

このレポートは、投資の参考となる情報提供を目的としたもので、投資勧誘を意図するものではありません。このレポートに用いられた数値及び意見等は、信頼に足ると考える情報源から得たデータ等に基づいており、KCR総研がその正確性を保証するものではありません。使用するデータ・表現等の欠落・誤謬等については責任をおいかねますのでご了承下さい。当社は、当資料の一部または全部を利用することにより生じたいかなる損失・損害についても責任を負いません。投資の決定はご自身の判断と責任でなされますようお願いいたします。記載された意見や予測等は作成時点のものであり、正確性、完全性を保証するものではなく、今後予告なく変更されることがあります。本資料の金融商品について当社や関連会社、及びその役員が自己売買または委託売買取引等を行う場合があります。内容に関する一切の権利はKCR総研にあります。事前の了承なく複製または転送等を行わないようお願いします。